

HOTEL SPA-MU

季刊 2023.04~06

No.67

答えがお解りになりましたらフロントへご連絡いただき、メンバーズNo.と間違い部分をお知らせください。
全問で正解されたメンバー様には粗品をプレゼントさせていただきます。

SPA-MU
暇つぶし間違い探しクイズ
(メンバー様限定) (1回正解まで)



正解イラスト



間違いイラスト

間違いは7箇所です

スパム周辺観光スポット紹介を募集します。

4月1日～6月30日まで

※メンバー様限定

スパム周辺の観光スポットや名所などを教えてください！
 教えていただいたスポットや名所はスパム四季報やタブレットで
 発表させていただきます。
 採用させていただいたお客様にはいろいろな賞を考えております。
 奮ってご投稿をお願いします。紹介は文章と写真を添えてください。



宛先: spamu@fk2.so-net.ne.jp

例題(情報はわかる範囲で大丈夫です)

行った時期:2023年5月
 場所:アウトドアセンター長瀬
 TEL:0494-66-4165
 時間:10:00～18:00
 料金:ラフティングツアー7,000円～

紹介文&行った感想

自然の中をずぶめれになりながら皆さんで力を
 合わせて川を下るのは、本当に気持ちよかったです。
 あっとゆう間の3時間ですごく楽しかったです。
 桜の時期も良さそうなので花見ラフティングも行ってみたいかな♡



2023年春夏版クロスワードパズル

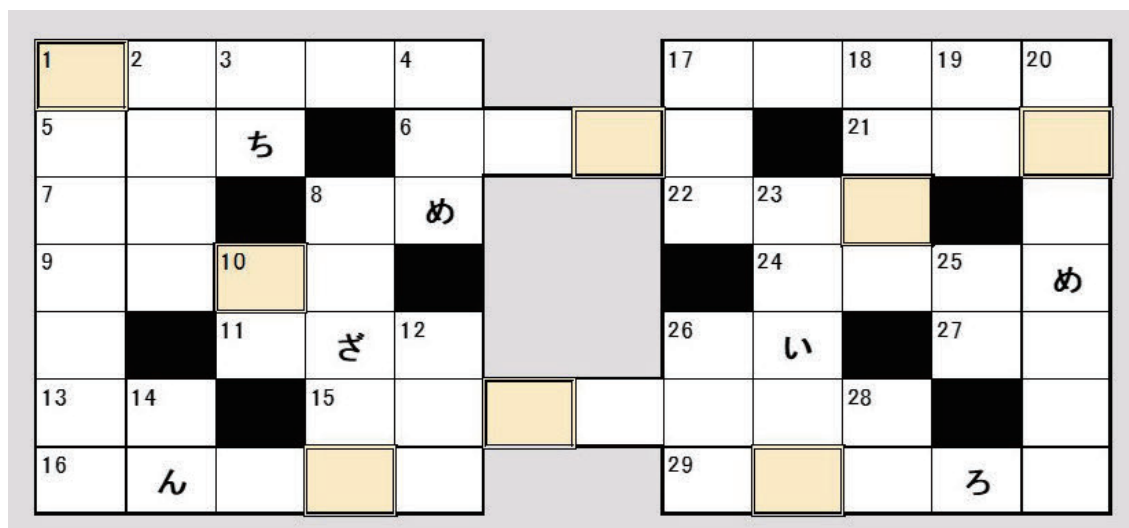
○スパムメンバー登録が必要です。

(メンバーズカードを精算機に差し込んだ後にご連絡ください)

4月1日～6月30日まで

6文字の人物名をお答えください。ご正解者には2000ポイント進呈いたします。 ※メンバー様限定

回答方法: フロント9番まで口頭にてお伝えください。ポイントは後日加算します。1メンバーにつき
 1回だけのポイント進呈です。ヨコの力ギとタテの力ギについては、お部屋に設置の別紙をご覧ください。



Food & Service フード&サービス

4月からグランドメニューが春夏ヴァージョンになります



わっぱめし&さっぱり麺

4月中旬からは…

※詳しくは机の上のポップをご覧ください。



北海五目わっぱめし



さくら海老のペペロンチーノ和風そば



冷やしつけ麺うどん胡麻ダレ



韓国フェア

(6月中旬～)

※詳しくは机の上のポップをご覧ください。



サムパブ



ジャージャー麺



石焼ビビンパ

じゃんけんスクラッチカード

5月21日～6月30日まで

大好評につき、またまた「じゃんけんスクラッチカード」を実施します。参加方法はとっても簡単！

卓上に置かれた「じゃんけんスクラッチカード」をこすればOK。

擦って勝ったらフロントまでご連絡ください。

※ 期間中でもスクラッチカードがなくなり次第終了いたします。





ニーチェの言葉～『この人を見よ』

13年前に『超訳ニーチェの言葉』が発売され、2年間という短期間に100万部を突破しミリオンセラーとなりました。累計では200万部を超えているのではないかと思います。ただ、アカデミック界隈では評判が悪かった。なぜなら「超訳」という形式は、本当のニーチェの言葉に従わずに編訳者が勝手に内容を作ってしまうと、「超訳だから」で通ってしまうからです。

この本はジャンルから言えば自己啓発書です。哲学書ではなく内容も哲学的ではありません。そして、ニーチェはそんなことは言っていないと思える部分が多々あります。そういうわけで、ニーチェ哲学を少しでもかじったことのある人からの評判はすこぶる悪かったのです。

今回のコラムでは、本当のニーチェ言葉(哲学)の一部をご紹介します。

まず、著書『この人を見よ』からの引用です。

“今、私はお前たちに命令する。私を見失い、お前たち自身を発見せよ。お前たちがこぞって私を否定したとき、はじめて私は、お前たちの許に戻って来よう。”(同書「序言」より)この文節はニーチェの名著『ツァラトゥストラはこう語った』からの引用です。ニーチェ自身の言葉でもあり、彼は「ニーチェの言葉や思想」を否定せよと述べています。

“私自身は「信者」などというものを欲しくない。(中略)私は決して大衆相手には語らない。…いつの日にか人から聖者と呼ばれることがあるのではないかと、私はひどく恐れている。(中略)私の真理は、恐怖を惹き起こす。なぜならこれまで人が真理と呼んで来たものが嘘となったのだから。あらゆる価値の価値転換、この言葉こそが私の内部ですでに血肉となり、天分とさえなっている、人類の最高自覚の行為をわきまえた人間でなければならないということ、数千年にわたる虚偽と対決する人間であることを自ら自覚しているということ、これである。”(同書「なぜ私は一個の運命であるのか」より)

また、ニーチェは著作群の中で何度か「真理などない」と述べています。しかしこの引用文では「私の真理は～」とある。

ということかということ、「価値転換」として自己矛盾を率先して引き受けることで、ここにニーチェ哲学の濃いエッセンスがあります。

『この人を見よ』の新潮文庫版の翻訳者である西尾幹二氏の解説にはこうあります。

“本書におけるニーチェのあらゆる形態の自己礼賛は、一種のアイロニーと解すべきである。”

目次を見ると「なぜ私は賢明なのか」や「なぜ私はかくも良い本を書くのか」の題が目に留まりますが、自分に対する皮肉、あるいは謙虚な善人に見られたくない、という思いがうかがえます。この本はニーチェの一種の自伝であり、『ツァラトゥストラ』を始めとする全著作をニーチェ自身が紹介しているので、初めてニーチェを読む人にとっては入門書にもなると思います。

ニーチェの本を幾冊か翻訳した西尾幹二氏は、別の個人エッセー風の本のなかでこう述べています。

“『ツァラトゥストラ』のなにげない一節をまずすなおに読んでもらいたい。ニーチェの読心力のすばらしさ、機知と皮肉、時代への憤り、少年のようなはにかみ、やさしさ、おろおろと気が弱くなったときにみせる彼の人のなつこさ、それでいてわが身の安全を度外視して敢然と生きる勇気、卑小なものへの弾劾、そしてなによりも、私たち自身になり切ることへの彼の要請(後略)。”

”(講談社現代新書『ニーチェとの対話』より)

ニーチェの人間心理にたいする洞察力は桁違いです。ニーチェ自身、『善悪の彼岸』のなかで心理学を諸学の女王と呼び、その他の学問は心理学に奉仕する立場になるのが相応しいと述べています。彼のいう心理学とは、現代の日本に出回っているような「人間にはこういう傾向があるからそれを利用してこうすればいいよ」といった軽薄なものではありません。人間の認識論的心理であり、価値観創造の根底にある心理です。

以上がニーチェ哲学の一部の紹介でした。

ニーチェとニーチェ哲学に少し興味をもたれた方がいらっしゃって、大雑把な概観を先に知りたいという方には、**ちくま学芸文庫・清水真木著『ニーチェ入門』**を、主著『ツァラトゥストラ』は最も良い翻訳と思われる白水社版に重版なく中古本しか出回っておらず、**中公文庫版・手塚富雄訳『ツァラトゥストラ改版』**を、個人的にはお勧めします。

今回は、堅い話になってしまいましたが、四季報コラムを最後まで読んでくださった方へのプレゼントとしてクロスワードパズルのヒントを差し上げます。この人物は18世紀に活躍した音楽家です。

それでは、SPA-Muのリラックスしたひとときを、どうぞごゆっくりお過ごしくださいませ。

